

ビキニデーに長崎代表5名が参加 「核兵器廃絶運動の原点」を学ぶ。

核兵器禁止条約実現の歴史的チャンス
一草の根から核兵器全面禁止の行動をーの
テーマで開催された2017年3・1ビキニデー集会
に長崎からは自治労連1名、新婦人1名、民医連1名
、県原水協1名のほか1名の5名で参加しました。

27日の国際交流会議には150人、28日の「原水協集会」には800人、3/1の久保山愛吉さんの墓参
行進・墓前祭には1200人がバラの花を手を、そし
て、3・1ビキニデー集会には1700人が参加しました。

1954年3月1日にアメリカがビキニ環礁で行った
水爆実験により、日本の第5福竜丸など多数の漁
船が放射能被爆したビキニ事件。このことを契機
に始まった原水爆禁止運動が求めてきた核兵器禁止・廃絶を他の大量殺戮兵器と同じように禁
止条約をもって実現へ大きく踏み出す歴史的なチャンスの前に開かれたこの集会、昨年提起さ
れた「ヒバクシャ国際署名」を大きく成功させ、核兵器禁止条約実現の大きな後押しをする、「戦
争国づくり」を許さない、市民と野党の共同の前進を、など「核兵器のない平和で公正な世界」
へ大きな世界の連帯を感じる集会になりました。

28日の原水協集会では発言の機会があり、「ヒバクシャ国際署名」の長崎の取り組みについ
て報告しました。被爆者5団体が揃って呼びかけ、結成された「県民の会」、代表賛同人には、長
崎県知事、長崎市長、平和推進協の横瀬さん、地球市民集会の朝長万左男さんが名を連ねてお
り、被爆者の訴えに応え、県民市民が共同して署名をすすめるようなものになっていること。

それが、10月29日の3000名が参加する「長崎市民平和大行進」での署名行動や12月26日の
田上長崎市長の街頭での署名の訴え、そして、自治体との共同の広がり発展していること。
とりわけ、自治体が被爆者の訴えに「機は熟している。原爆はいかんという一致点で運動するこ
とが大事だ。」と賛同を表明し、ホームページや広報で協力のお願いや紹介が掲載され、署名
コーナーが設置されていること等を紹介しました。そして、「核兵器のない
世界へ」被爆地の原水協として2017年にふさわしい役割を発揮すること
を決意表明しました。

被爆から60年を超えて、高知の高校生から始まった調査「ビキニ核被災
ノート」が隠された60年の真相を追い、日本の核政策、原子力政策の真相
を明らかにしています。
2017年最初の集会、日本の核政策について考え、核廃絶への思いを新た
した集会になりました。



核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会
Gensuikyo news 2017/3/7
〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会の動きから

2017年(平成29年)3月1日 水曜日 地域総合

核禁条約積極行動を

制定交渉 知事に意見相次ぐ

県議会一般質問

定例県議会は28日、一般質問を続行し4人が登壇。議員からは、核兵器を非合法化して廃絶することを目指す「核兵器禁止条約」の制定交渉が3月下旬から国連で始まることを受け、中村法道知事の積極的な行動を求める意見が相次いだ。

昨年12月には、3月から制定交渉を始めるとの決議案が国連総会に提出されたが、日本政府は「核軍縮には核保有国と非保有国の協力が不可欠だが、条約は対立の激化を招く」などとして反対した。決議案は、賛成多数で採択された。

坂本浩議員(改革21)は「(決議案に賛成するよう政府に求める)知事の動きが見えなかった」と指摘。制定交渉に向けては「長崎市などと連携して政府への参加を後押ししてほしい」と求めた。

これに対し、中村知事は先月の準備会合に中国以外の核保有国が参加しなかったことを振り返り、「(制定交渉で)核保有国と非保有国が背を向け合えば、核廃絶が遠のくと危惧している」と回答。「政府の最終判断を待った上で、被爆県として対応すべき状況になれば行動したい」と述べるにとどめた。坂本議員は「日本不参加が、決まってしまうと遅い」と述べ、政府への働き掛けを求めた。

一方、堀江ひとみ議員(共産)は、核兵器禁止条約締結を全ての国に求める「ヒバクシャ国際署名」の代表賛同人を中村知事が務めていることを指摘し、「知事が街頭で訴える考えはないか」と質問。中村知事は「(被爆者らでつくる推進組織の)県民の会と相談しながら、いずれかの時期に直接、県民にお願いする機会をつくりたい」と答えた。(緒方秀一郎)

中村知事は県議会で「県民の会と相談し、いずれかの時期に直接県民にお願いする機会をつくりたい」と表明。

国連での交渉会議が始まる前日の3月26日(日) 定例の街頭宣伝日となっている「県民の会」は、中村知事に来ていただき、核兵器禁止条約実現へ世論を大きく盛り上げるステップにしたいと考えています。

署名行動はハマクロス前で16時から17時まで、多くの方の参加を呼びかけます。

あなたの署名を国連へ

核兵器を禁止し 廃絶する条約を

HIBAKUSHA APPEAL
ヒバクシャ国際署名
すすめる長崎県民の会

あなたの署名を国連へ

核兵器を禁止し、廃絶する条約を

ヒバクシャ国際署名に協力を

ヒバクシャ国際署名をすすめる長崎県民の会

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102

あなたの署名を国連へ

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名
Hibakusha Earnestly Desire Elimination of Nuclear Weapons

のぼり(1800×450)
横断幕(2400×900)
横断幕(1500×600)
長崎県版署名用紙
「県民の会」として作成しています。
ご相談ください。